

第5回 核データ・グループ会合議事録

日 時： 昭和41年12月20日

場 所： 原研（東京本部 第一会議室）

出席者 井出野，田中，五十嵐，中島，西村，更田，若林，村田，河原崎，神田，
大久保，岡本，（菊池）

前回議事録確認

議 題

1. データシート関係進行状況（田中）

Computer-INPUT と OUTPUT（主として OUTPUT）の
FORMAT の Programme は殆ど出来上っている。Data Sheet は発注、
出来上った。

Data Sheet 記入法，Computer Index の記入法も近く完成し，

Computer Index 中の“Instrument and Method”項（河原崎氏担
当）の記入例もタイプ印刷で添付し近く送付する。

New Data Sheet は，おそくとも1967年出版刊行物から使用する。それ
以前のものに使用することもよい。

一月整理班で，その集まり具合をみる。

各自分担，採用する雑誌の可否，整理班でのチェック事項 → 次回に残す。

2. 共鳴パラメータ ファイルの件（更田）

“Computer File of Resonance Data”と名付けたい。

最終的な Input および Output を検討しているので意見を出してくれる
ことを希望する。ただし，あまり Complete なものを始めからは考えない。

Programme については森口氏に依頼したい。

3. 炉定数グループとの関係（五十嵐）

誰かに来て話をしてもらうことも大分問題があるが，具体的な境界領域の問題
を考え，炉定数グループの人に問題提起を含めた話をしてもらうようにはかっ
てみる。

4. 来年度計画 その他(中島)

今年度は3月まで東京での会合は2回程度可能, 来年度予算は大わくとして今年度なみで全体として900万, 来年度計画案として

- ① ELIESEによる非弾性散乱計算外注依頼
- ② Average Cross Sectionの温度変化にドブラー効果を入れ実験との比較をする。(西村, 五十嵐)
- ③ 共鳴パラメータの使い方のprogram (計算式作成依頼)
- ④ ELIESEの改良
以上 外注

⑤ その他, Evaluationの作業, Calcomp, Cardboxなど機器
Σ委員会としての長期計画についての討論説明を行った。(略)

5 グループ責任者, 会合議長, 書記の件
グループ責任者は従来通り中島(竜)氏

議長はABC順に全員, 書記は逆ABC順に原研関係委員が夫々分担する。

6 Progress Report (中島)

NEANDC提出 Progress Report 国内へ切は12月26日

7 次回会合について

議長 浅見氏 (予定)

書記 田中氏 (")

日時 昭和42年2月9日(木) 原研東海 午後一時(予定)

議題として Evaluationの問題, 予算消化状況報告を含める。